

東京都市大学「求める人材・大学教育へのニーズ実態調査」結果概要

2021.2

東京都市大学 教育アセスメント室

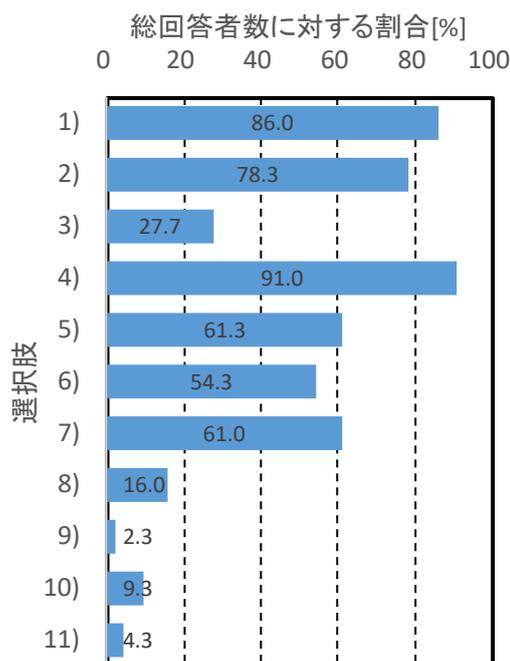
[有効回答数：300件]

■新卒者に求めるものについてお伺いします。

Q1. 貴社が大卒者新規採用者に最低限求める IT スキルの内容は、どのようなものですか。
あてはまるものをすべてお選びください。

(※選択肢以外のものがある場合は、その他をチェックし、内容をご入力ください)

1) パソコンを使い、情報を収集・整理する習慣を身につけている
2) インターネット検索を活用する際に、情報源を見極めながら収集することができる
3) 様々なパソコンソフトを駆使し、情報分析、情報発信することができる
4) パソコンを使い、簡単な書類作成ができる
5) パソコンを使い、データの加工・分析ができる
6) パソコンを使い、データの分析結果をグラフなどで表現できる
7) パソコンソフトを使い、絵や図、グラフを組み合わせるプレゼンテーション資料が作成できる
8) パソコンやソフトの使い方について人に教えることができる
9) SPSS等の専門性の高いソフトを使用できる
10) プログラムができる
11) その他



[[11)その他] の概要]

- ・ IT スキル不問
- ・ Excel PowerPoint Word の使用法
- ・ CAD ツール
- ・ キーボード操作
- ・ PC の設定
- ・ 情報セキュリティに関する知識と理解

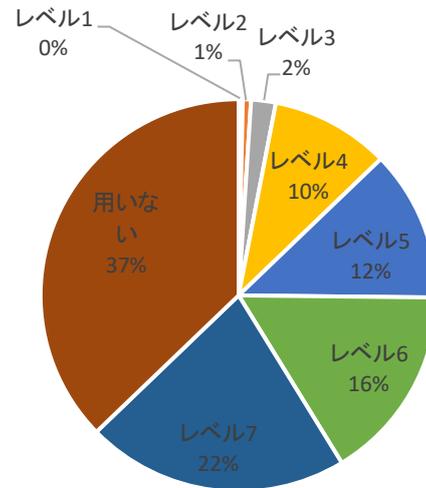
▼考察

基本的なコンピュータの使用法と活用方法に対する必要性を求める回答が多数を占めたと言える。「その他」の回答の中に、入社時点で IT スキルは求めないが、入社後の研修や実務で IT スキルを高めてもらうようにしているとの回答があったことから、基本的なコンピュータの利用方法に関する経験が入社時に必要で、業務に利用するソフトウェアの利用方法等については、入社後の研修等で身に付けるようにしていることがうかがえる。

具体的に見ると、項目 1),2),5),6),7)の項目について重要視する結果が得られていることから、IT に関する高度な知識、技能は求められていないようであるが、一方でデータの収集や整理、分析や加工に関する能力と習慣づけが必要であるとの要望が読み取れる。

Q2. 貴社の新卒者に求める外国語（英語）のコミュニケーションレベルは、どのようなものですか。最もあてはまるものを1つお選びください。

レベル1: ほぼすべての話題を容易に理解し、その内容を論理的に再構成して、ごく細かいニュアンスまで表現できる
レベル2: 広範で複雑な話題を理解して、目的に合った適切な言葉を使い、論理的な主張や議論を組み立てることができる
レベル3: 社会生活での幅広い話題について自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を表現できる
レベル4: 社会生活での身近な話題について理解し、自分の意思とその理由を簡単に説明できる
レベル5: 日常生活での身近なことがらについて、簡単なやりとりができる
レベル6: 日常生活での基本的な表現を理解し、ごく簡単なやりとりができる
レベル7: ごく簡単な表現を聞きとれて、基本的な語句で自分の名前や気持ちを伝えられる
特に外国語(英語)を業務上、使用することはない



▼考察

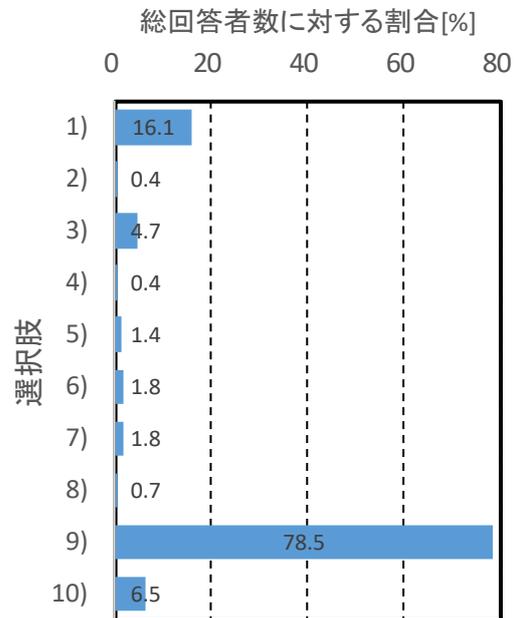
特に外国語を業務上利用しないと回答した割合が3分の1強あった。また、全体の4分の3程度はレベル6以下と回答している。この結果から、多くの企業では新卒者にそれほど高い外国語コミュニケーションのスキルを求めていることが分かる。しかしながら、裏を返せば、4分の1程度の企業がレベル5以上の語学力を求めていることから、そのレベルの語学力を身に付ければ、就職先の選択範囲がさらに広がることを意味しているとも言える。

Q 3. 貴社の業務で英語以外に必要な外国語はありますか？

あてはまるものをすべて選んでください。

選択肢以外の外国語があれば、「その他」を選び、何語かをご記入ください。

1) 中国語
2) 朝鮮語
3) ベトナム語
4) ロシア語
5) フランス語
6) ドイツ語
7) スペイン語
8) ポルトガル語
9) 特に必要ない
10) その他



〔「10)その他」の概要〕

- ・所属部署により要否が大きく変わる
- ・海外拠点で使われる言語
- ・タイ語, ミャンマー語

▼考察

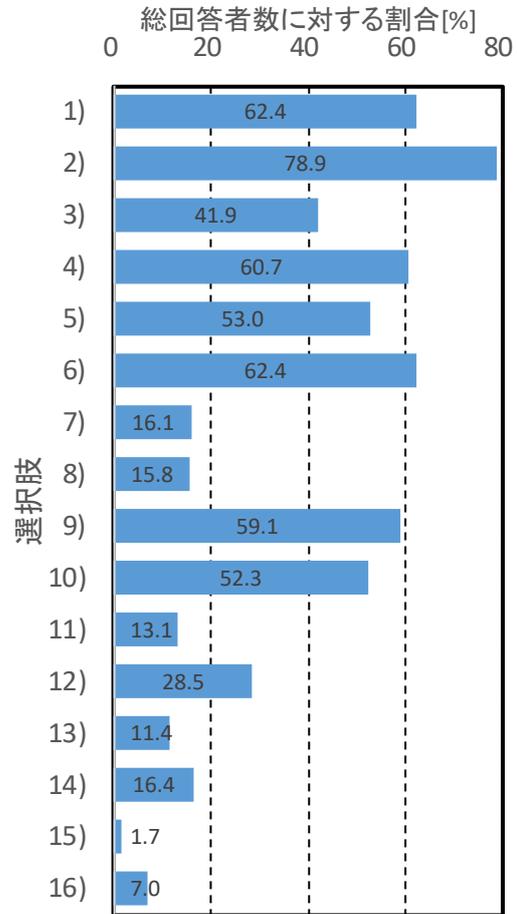
英語以外の外国語に対する必要性はあまりないことが分かる。裏を返せば、英語を身に付けておけば、とりあえず外国語によるコミュニケーションには事足りるということだと考えられる。

少数の回答ではあるが、英語以外で求められる言語としては、欧州系の言語より、アジアの言語が求められていると言える。「その他」の回答にも見られるように、海外の拠点が置かれている地域がアジアに集中していることが理由として考えられる。また、欧州では一般に、英語があれば母国語を利用せずとも業務が行えると考えられ、これが回答の結果に反映しているとも言える。

その他の自由記述には複数「英語も含めて部署により要否が変わる」との回答があったことから、語学を身につけておけば、企業内で幅広く活躍する可能性が拓けるともいえる。

Q 4. 貴社が望む「学生のうちに特に力を入れて経験しておくべきこと」はどのようなものですか。
 あてはまるものをすべてお選びください。
 (選択肢以外のものがある場合は、その他にチェックをお選びいただき、その内容をご記入ください。)

1) 教養科目[授業]
2) 専門科目[授業]
3) 演習
4) 実験・実習
5) ゼミ
6) 卒業研究
7) 自主研究
8) 留学・海外経験
9) 部活動・サークル
10) アルバイト
11) ボランティア
12) インターンシップ
13) 地域貢献活動
14) 課外活動等の学外で行う諸活動
15) 特になし
16) その他



[[16)その他] の概要]

- ・夢中になって取り組んだ経験
- ・学校以外のコミュニティへの参加
- ・学生のとくにしかできないような経験
- ・パソコンの基本的知識

▼考察

まず、回答が多かったのは、項目 1)~6)の授業科目への取り組みであった。特に専門科目については 8 割程度が力を入れて経験すべきと回答しており、当然のことながら自身の専門についてしっかり取り組むことが重要であることを示している。

また、これに次いで、実験・実習、卒業研究の回答も 6 割を超えている。これは座学での知識のみでなく、これらを実践したり、応用したりする能力を重要視しているためと考えられる。

教育課程外における経験としては、部活動・サークル、アルバイトが半数を超えている。「その他」の回答に見られたように、大学以外のコミュニティへの参加によるコミュニケーションスキルの向上を期待しているのではないかと考えられる。また、「その他」では、「何かに夢中になる」、「何かに打ち込む」という回答が複数あったことから、これらの活動に打ち込んだ経験を期待していると受け取ることができる。

Q5. 貴社が望む「学生のうちに学んでほしいこと」の詳細について、ご自由にお書きください。

[自由記述の回答内容の分類結果(有効回答数 179 件)]

分類項目	回答数
コミュニケーション能力・対人基礎力・協働力	66
多様な経験	29
基礎学力・一般教養・基礎的技能	27
問題発見力・問題解決力	18
自律性・主体性	16
熱意・熱中・集中	14
専門知識・専門技能	11
プレゼン力・発信力	10
多様性の容認・理解・適応	9
忍耐力・粘り強さ・継続性	8
学ぶ姿勢	6
トラブル・困難・失敗対応力	4
努力・チャレンジ	4
自由な発想・広範な視野・センス	4
倫理・常識	3
論理的思考	3
資格	2
働く意義	2
得意分野	1
(人生)哲学	1
その他	2

▼考察

回答内容に見受けられた内容として最も多かったのがコミュニケーション能力を含む、対人基礎力や協働力であった。Q4の回答の中にもそのような内容が含まれていることから、業務をうまく進めるには必須の能力であるとの認識されていることが見て取れる。また、「多様性の容認・理解・適応」という回答が多かったことから、他者とうまく業務をこなしてゆく技能が求められているのではないかと考えられる。

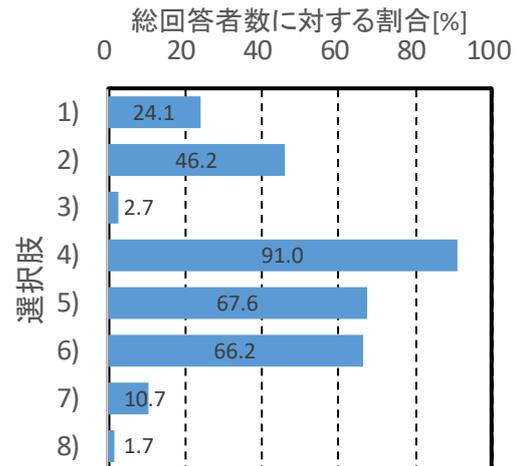
次いで多様な経験と回答した割合も高かった。これはQ4の回答にも多く見られており、学業のみでなく、様々なことを経験した学生を重要視していることが読み取れる。

「基礎学力・一般教養・基礎的技能」、「専門知識・専門技能」といった、授業で学ぶ内容についても、回答が多かった。これはQ4の結果とも一致している。

この他、「自律性・主体性」、「熱意・熱中・集中」、「忍耐力・粘り強さ・継続性」、「学ぶ姿勢」、「トラブル・困難・失敗対応力」といった、仕事を遂行する上で必要な姿勢についての回答も多数見られた。これらを在学中に身に付けるには、座学のみならず、実験、実習や卒業研究など、実践的な授業形態の授業や、課題の発見から行う必要があったり、解答がなかったりするような取り組みを積極的に取り入れる必要があると考える。またQ4の結果にも見られるように、カリキュラム外、正課外の活動も重要であると考えられる。

Q6. 貴社が大卒者の新規採用者に対して、特に重要だと考える項目を3つ選んでください。

1) 専門知識・専門科目の学力
2) 基礎学力・一般教養
3) 外国語(英語など)の能力
4) チームワーク、協調性などのコミュニケーション力
5) 言われなくても進んで取り組む姿勢
6) 課題を発見し、解決するための計画を立てる力
7) パソコン操作などの能力
8) 異文化に関する知識や海外でのビジネスマナー



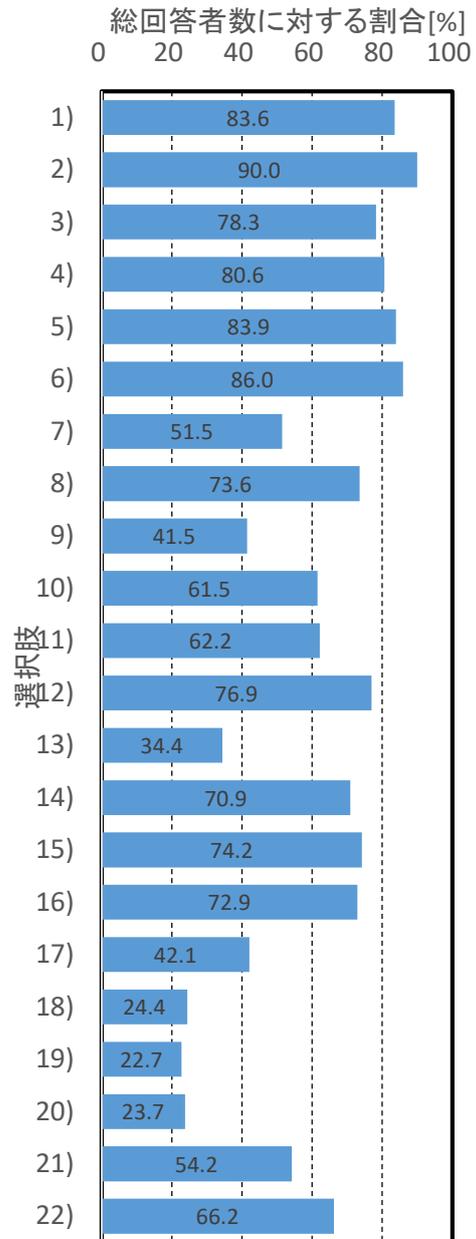
▼考察

4)を選択した割合が9割を超えており、次いで業務を遂行するために必要な5), 6)の項目が3分の2以上の割合で選択されている。これらについてはQ4, Q5の結果とも一致している。一方で、外国語の能力を特に重要と考えているケースはほとんどないことが分かる。これはQ2の結果と同じ傾向であった。

一方で、1), 2)の割合については、半数に満たず、Q4において、1), 2)と回答した割合が高かったのとは対照的な結果となっている。おそらくこれは、カリキュラム内の学修について、しっかり取り組むのは当然であり、新規採用に関して特に重要なポイントとは見なしていないのではないかと推察される。これはQ4やQ5において、授業外の活動も重要視されていたことからもうかがえる。

Q 7. 貴社が大卒者の新規採用者に対し重要だと考える能力について、あてはまるものをすべてお選びください。

1)収集すべき情報の特性や情報源の信憑性が理解できる
2)図表や文章から読み取った内容の関係を論理的に思考し、構造化することができる
3)いくつかの問題点の中から、解決すべき課題の優先順位を理解することができる
4)いくつかの解決策の中から、制約条件を踏まえて有効な解決策を選択することができる
5)親しくない人に対しても、自分から気軽に話しかける
6)人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる
7)人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけをすることができる
8)雰囲気づくりなどを通じてチームに貢献することができる
9)相手や状況に関係なく、はっきりとした主張ができる
10)相手の立場や背景も考慮しながら意見調整を進めることができる
11)ストレスやプレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対処できる
12)難しい課題に対しても前向きに取り組むことができる
13)自分ならではの強みや持ち味を活かせる場面をイメージすることができる
14)初めてのことで、臆せず取り組むことができる
15)何かに取り組む時には、自発的に考え行動に移す
16)取り組んだことに対しては、自分なりに工夫しながら最後までやり抜くようにしている
17)課題に応じ、様々な方法で情報を集めることができる
18)定性的データを客観的に整理し、複数の因果関係の仮説を立てることができる
19)経験のあることならば不確定な部分があっても具体的に妥当な計画を立てられる
20)立案した計画の実現性を吟味することができる
21)計画を実行しながら、遅れや予想外の事態に応じて行動を修正することができる
22)うまくいかなかった場合、原因を追求し次に役立てる

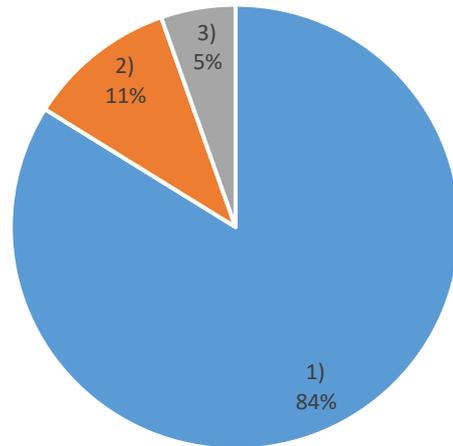


▼考察

項目 1)～4)の、情報の分析と解決に関する項目が高い割合となっている。また、5), 6), 8)のような、複数名のグループにおいてうまく立ち回ることができる能力も求められていると言える。さらに積極性、自律性、自発性に関する 12), 14), 15), 16)の項目も7割以上となっており、重視されていることが分かる。

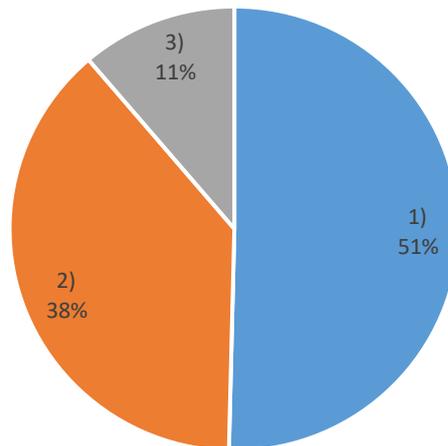
Q 8. 貴社に新規大卒採用及び中途採用含めて、『技術者』に現在就業中の東京都市大学の卒業生はいますか。あてはまるものを1つお選びください。

1) 卒業生がいる (SQ1)に進んでください
2) 卒業生はいない Q13に進んでください。
3) わからない Q13に進んでください。



(SQ 1) 東京都市大学卒業生の人数は何人ですか。あてはまるものを1つお選びください。

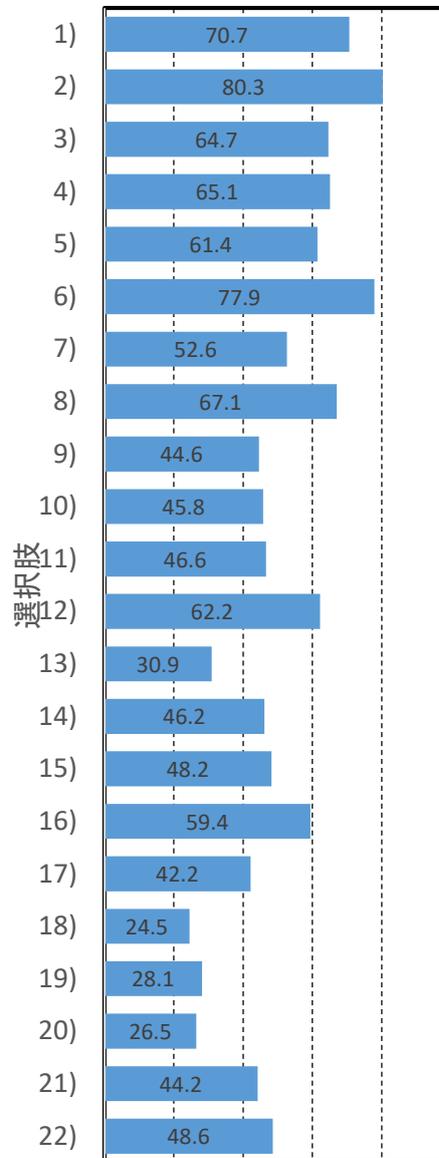
1) 5人未満
2) 5人～30人未満
3) 30人以上



**Q 9. 貴社に在籍する東京都市大学の卒業生について、どのような感想をお持ちですか。
 あてはまるものをすべてお選びください。
 ※卒業生が複数、在籍している場合は、全体的な印象でかまいませんのでお答えください**

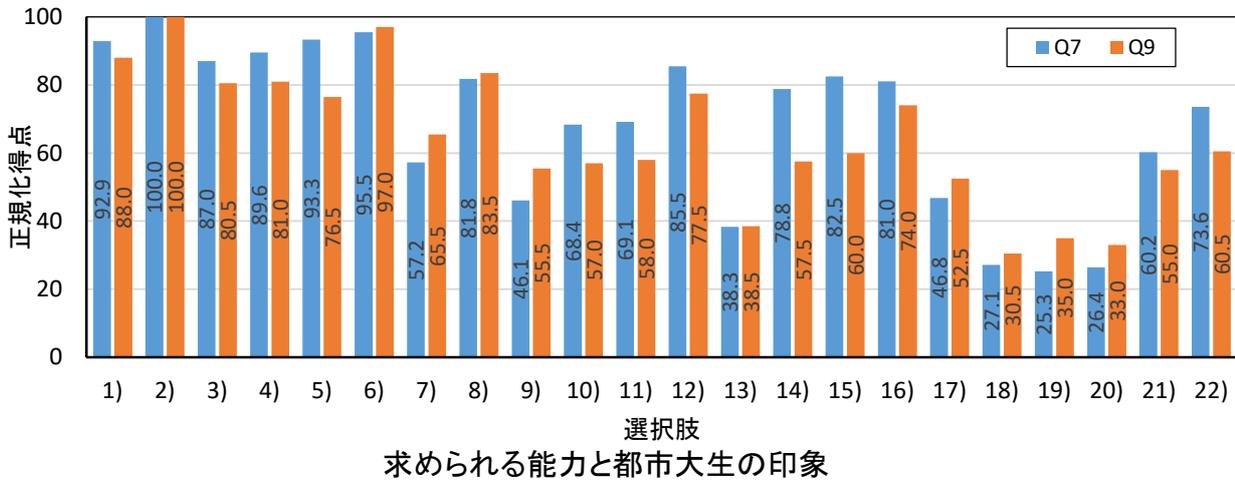
総回答者数に対する割合[%]
 0 20 40 60 80 100

1) 収集すべき情報の特性や情報源の信憑性が理解できる
2) 図表や文章から読み取った内容の関係を論理的に思考し、構造化することができる
3) いくつかの問題点の中から、解決すべき課題の優先順位を理解することができる
4) いくつかの解決策の中から、制約条件を踏まえて有効な解決策を選択することができる
5) 親しくない人に対しても、自分から気軽に話しかける
6) 人から相談された際は相手の話を一生懸命聴き、信頼を得ることができる
7) 人から相談された際に、本人がやる気が出るよう働きかけをすることができる
8) 雰囲気づくりなどを通じてチームに貢献することができる
9) 相手や状況に関係なく、はっきりとした主張ができる
10) 相手の立場や背景も考慮しながら意見調整を進めることができる
11) ストレスやプレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対処できる
12) 難しい課題に対しても前向きに取り組むことができる
13) 自分ならではの強みや持ち味を活かせる場面をイメージすることができる
14) 初めてのことでも、臆せず取り組むことができる
15) 何かに取り組む時には、自発的に考え行動に移す
16) 取り組んだことに対しては、自分なりに工夫しながら最後までやり抜くようにしている
17) 課題に応じ、様々な方法で情報を集めることができる
18) 定性的データを客観的に整理し、複数の因果関係の仮説を立てることができる
19) 経験のあることならば不確定な部分があっても具体的で妥当な計画を立てられる
20) 立案した計画の実現性を吟味することができる
21) 計画を実行しながら、遅れや予想外の事態に応じて行動を修正することができる
22) うまくいかなかった場合、原因を追求し次に役立てる



[Q7, Q9 の比較データ]

両結果ともに、項目 2) の回答率が最も高かった。両データを比較しやすくするため、項目 2) の回答率を 100 に正規化し、正規化した Q7, Q9 のデータを並べてグラフにしたものを下記に示す。



▼Q7, Q9 の比較考察

図を比較すると、都市大生の特徴として、項目 7), 9), 17~20) の数値が高くなっていることが分かる。7), 9) は組織を円滑に動かすために必要な能力と考えられ、項目 17), 18) は情報収集と整理、分析の能力、19), 20) は計画の立案と検討に関する能力であり、これらの点が都市大生の強みと考えられていると推察される。

一方で、求められる能力に対して数値が低くなっている様子が目立つ項目としては、項目 3)~5), 項目 10~12), 項目 14), 15), 項目 22) がある。項目 3), 4), 22) に関しては問題発見および解決の能力、項目 5), 14), 15) は積極性、自発性に関する能力、項目 10)~12) については、周囲の状況に適切に対応しながら行動する能力である。

今回の分析結果が的確に都市大生の特徴を捉えているかは別の側面からの検討も必要かと思われるが、このような分析結果を、さらに都市大生の強みを強化する、あるいはアピールする取り組みを行ったり、補うべき能力を強化する教育上の改善を行ったりすることに利用してゆきたいと考えている。

Q10. 貴社に在籍する東京都市大学の卒業生について、上記の能力以外で評価や感想はありますか。ある場合は、ご遠慮なくご意見を入力ください。

[自由記述の回答内容の分類結果(有効回答数 72 件)]

分類項目	回答数
手堅い・実直・誠実・真面目・努力家	20
気配り・献身的	10
高いコミュニケーション能力・協働力	9
控えめ・地味・おとなしい	8
個性的・独特の感性	6
明るい	5
積極的・前向き	5
リーダーの素質	5
優秀	4
高い専門力	4
活躍	4
忍耐強い	2
低いコミュニケーション能力	2
おおらか	1
盲従的	1
浅薄・思慮に欠ける	1
高い責任感	1
自信	1
高い基礎力	1
柔軟性・順応性	1
その他	3

▼Q9, Q10の結果についての考察

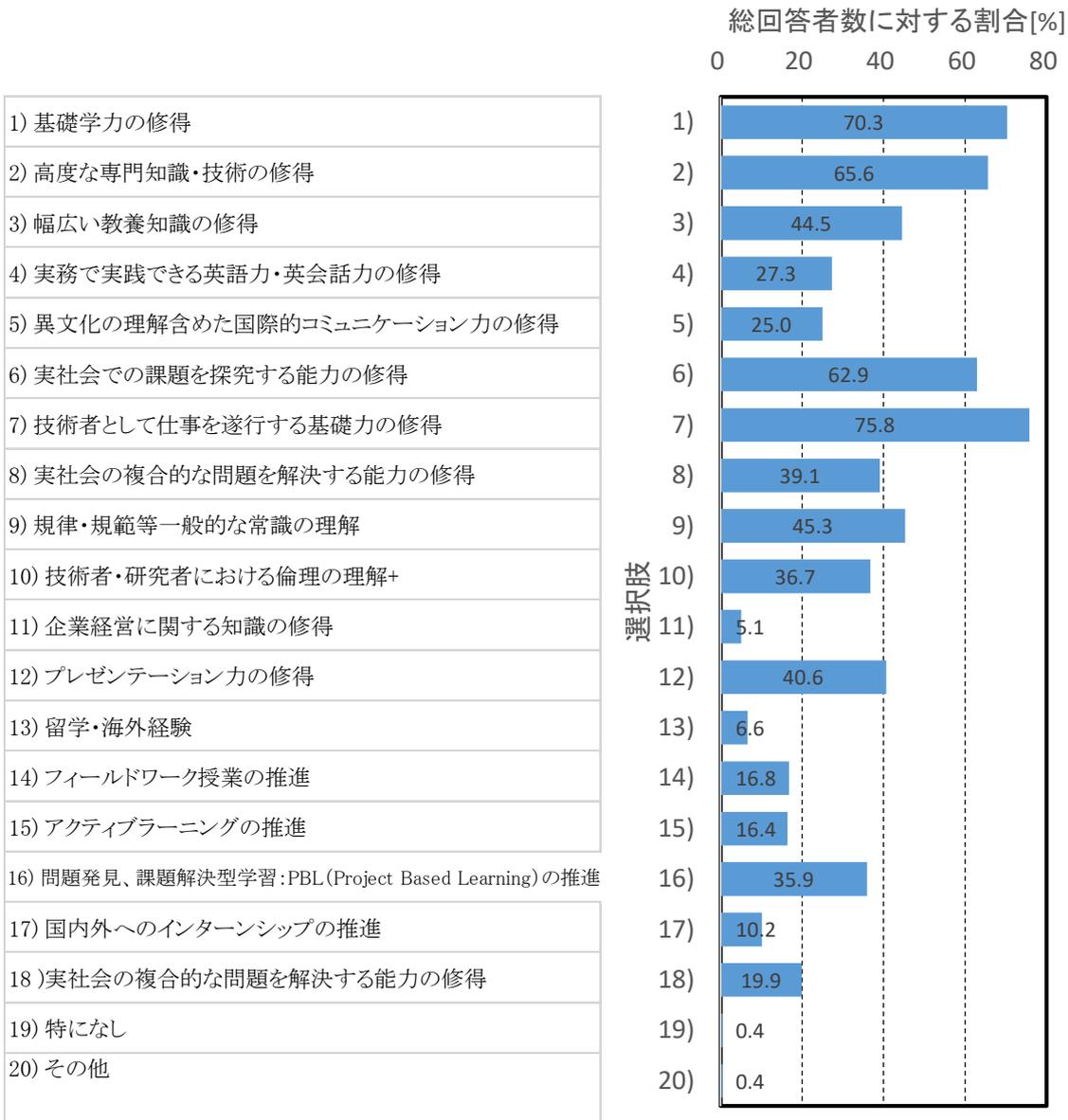
Q9の1), 2)の割合が高いことから、対課題の能力としては、情報の分析や理解の能力に優れていることが分かる。

Q9において、6), 8)が高い一方で5), 7)が比較的低いこと、Q10の「気配り・献身的」、「高いコミュニケーション能力・協働力」の回答が多かったことから、どちらかといえば、受動的な立場として組織に貢献する能力に長けていると評価されているのではないかと推察される。

また、Q9の3), 4)についても3分の2近くが当てはまると回答しており、問題発見・解決能力も評価されていると言える。

Q9の12), 16)の割合が高く、またQ10において「手堅い・実直・誠実・真面目・努力家」、「控えめ・地味・おとなしい」という意見が多かったことから、堅実で真面目なイメージは実際に企業の中でも定着しているのではないかと考えられる。

Q 1 1. 東京都市大学のカリキュラムと科目に対して、貴社が期待していること、要望したいこと等はどのようなものですか。あてはまるものをすべてお選びください。



▼考察

1), 2), 7)の割合が高くなっているが、Q4～Q6の結果を踏まえると、基礎から専門に至るまでのカリキュラムを総合的に整備すべきであることは当然のことと言える。

次いで 6)の割合が高いが、これについてはカリキュラムの中に、実社会の問題点について考えるPBLの要素を多く組み込むことにより、その能力を高めることができるのではないかと考えられ、これは回答者の3分の1が16)を選択されていることから裏付けることができる。

この他、3), 9), 12)の割合が4割を超えているが、これらの項目は、基礎的な知識、技能として身に付けるべき内容として、カリキュラムの中に組み込むべきであろう。

一方で、13)については、低い割合であった。Q4においても低い割合であったことから、現状では、海外経験よりは、コミュニケーション能力や基礎的知識や技能の習得に力を入れるべきという意識が強いのではないと思われる。

17)は1割程度と低かったが、Q4においては3割程度が必要と回答している。この結果から推察すると、インターンシップはカリキュラムの中に組み込まず、課外活動として実施するのが適切ではないと言える。

Q12. 東京都市大学の教育に対するご期待・ご要望等をご自由にご入力ください。

[自由記述の回答内容の分類結果(有効回答数 72 件)]

分類項目	回答数
実務・実学・実践力	7
専門性・技術力	7
基礎力	6
個性・人間力	6
コミュニケーション力・社会性	5
課題発見力・解決力	4
適応性・柔軟性	4
独創性・先進性・開拓者精神	3
情報処理	3
幅広い知識・見識	2
主体性・積極性	2
ものづくり	1
次世代・牽引力	1
論理的文章力	1
積極性・チャレンジ	1
自信	1
プレゼンテーション力	1
論理的思考	1
根気	1
その他	5

▼考察

全体としての回答総数は少なかったが、実務能力に期待する声が多く寄せられた。次いで、業務を遂行する上で必要な能力であり、これまでの質問項目でも高い関心が寄せられた、個性・人間力、コミュニケーション能力、課題発見力・解決力が続いており、今回のアンケート全体を見てもこれらの項目への関心の高さがうかがえる。

[回答企業の概要]

Q 1 4. 従業員数はどのくらいですか。あてはまるものを1つお選びください。

1)100名未満	7
2)100名～500名未満	78
3)500名～1,000名未満	69
4)1,000名～3,000名未満	68
5)3,000名以上	76
無回答	2

Q 1 5. 業種はどれですか。あてはまるものを1つお選びください。

1)農林漁業	0
2)製造業	104
3)建設業	59
4)卸売業	11
5)小売業	1
6)金融・保険業	0
7)情報通信業	66
8)運輸業	5
9)不動産業	3
10)飲食・宿泊業	0
11)サービス	20
12)その他 (以下にご入力ください)	28
無回答	3

[その他]

- 機械 ●電気・電子 ●ソフトウェア設計 ●エンジニアリング ●半導体電子部品の専門商社技術サービス
- 店舗内装・ディスプレイ業 ●その他サービス業 (ディスプレイ業) ●エネルギー ●非破壊検査 ●国立研究開発法人
- リネンサプライ ●専門サービス ●製造業含む ●情報サービス業 ●電気事業 ●官公庁 ●ソフトウェア開発
- ガス・エネルギー・インフラ ●マニュアル等使用情報の制作および印刷を行っております ●アウトソーシング
- 総合印刷業 ●その他の技術サービス業 (原子力発電所の運転補助業務) ●マスコミ ●工業設計技術サービス事業
- 3D プリント事業 (試作、製造) ●3D-CAD 教育事業 (工業系大学、企業向け) ●総合設備業 ●建設業と運輸業
- 情報通信ネットワーク構築 ●人材・アウトソーシング業 ●商社 ●まちづくり全般 ●電力業 ●不動産
- 商業施設の開発 ●運営管理 ●建設業 ●設備・点検・メンテナンス

Q 1 6. 資本金はどのくらいですか。あてはまるものを1つお選びください。

1)300万円未満	0
2)300万～500万円未満	0
3)500万～1,000万円未満	1
4)1,000万円～1億円未満	52
5)1億円～5億円未満	72
6)5億円～10億円未満	15
7)10億円以上	156
無回答	4

Q 1 7. 貴社が所在する都道府縣市町村名をご記入ください。

東京都	193
神奈川県	48
埼玉県	14
千葉県	5
その他(全国各地を含む)	46
無回答	3